

# 右翼労働戦線「統一」粉碎・三里塚二期工事着工阻止

# 12・3 労働者集会を成功させよう

# 日刊動労千葉

81.11.8

全日版  
No. 98

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〜六(公衆)電話(五七)七二〇七

## 右翼労働戦線「統一」の尖兵・国鉄35万人体制の推進者 本部「反動分子」を今こそ一掃し、動労大改革へ!

\*\*\*  
全国の闘う動労組合員の皆さん! 全組合員の皆さん!  
わが動労千葉は、全国の闘う労働組合・労働者に呼びかけ、来る十二月三日、午後六時より東京・牛込公会堂において、『右翼的労働戦線「統一」粉碎・三里塚二期工事着工阻止、十二・三労働者集会』を開催します。全ての心ある労働者の皆さんがこの集会に総結集され、八〇年代を真に闘う方向性についてお互いに確認し、共に前進されることを心から呼びかけます。  
\*\*\*

### 高まる戦争の危機

今日、アメリカ・レーガン政権は、「ソ連の脅威」を叫び、全世界で恐るべき核戦争挑発政策を強行し、日帝・支配階級の軍事大国化・改憲・「行革」など諸反動攻撃がますます激化しています。八月発表された防衛白書は、「守るべきは、国家体制である」といい放ち、自衛隊を「専守防衛」から「前方戦略」に「敵基地を叩ける軍事力」に海外侵略を公然と明らかにしています。さらに今月に入り、自衛隊の観閲式・観艦式の強行・北富士での日米共同演習など戦争体制への攻撃を強めています。「国家体制の防衛」のため、あらゆる人権の抑圧・人民の反撃の封殺をもって再びアジア侵略・世界戦争へと人民をかりたてようとしているのです。  
われわれは、八一・三ジェット決戦勝利の地平を堅持・拡大し、三里塚二期決戦を基軸に労働者階級本隊の総決起をかちとり、支配階級の戦争と反動攻撃に対決する総反撃の突破口としなければなりません。

### 三里塚と闘う労働運動の強化をもって右翼的労働戦線「統一」攻撃を粉碎しよう

今日、総評分裂―解体を意図した右翼的労働戦線「統一」攻撃が、日帝・支配階級の意を体した同盟・J〇(金属労協)などの労働貴族共によって策動されています。

しかし総評指導部は、この「統一推進会」による右からの総評解体攻撃に対し、「大筋で理解する」などと全面的屈服の方針を打ち出しました。去る十一月四日の総評臨時大会は、右翼的労働戦線「統一」反対の広範な労働者の声の前に「統一準備会参加」の結論を出せないうまま終了しました。一方、動労「本部」革マル反動分子は、右翼的労働戦線「統一」攻撃に屈服し、積極的推進役となっている総評指導部を擁護しつづけてきました。そ

してついに、十・二〇国際反戦中央集会や十一月四日・総評臨時大会では、『右翼的労働戦線「統一」反対』の広範な労働者の声を暴力的に圧殺しようとして自ら「防衛隊」を買って出て、右翼的労働戦線「統一」の最先兵となり下っています。とくに、総評臨時大会の会場で配った動労の「ピラ」で彼ら動労「本部」革マル反動分子は、公然と次のようにいい放っています。  
すなわち、「限界を持つとはいえ(総評の)『五項目補強見解』をまざるもって堅持し、そこを出発点に総評労働運動の強化をはかる」などとして、臨時大会でなんとか「統一準備会」への参加を確認しようとする総評指導部を最大限擁護していたのです。

しかし、そもそも総評の「五項目補強見解」は、統一推進会の「基本構想」を認めることが前提であり、この「基本構想」の反動性については、すでに明らかな通りです。  
動労「本部」革マル反動分子は、こうして「統一準備会」への参加を自らがり残されることを恐れ、さらに日帝・支配階級の戦争と反動攻撃に恐怖し屈服し、今やその先兵となって、わが動労千葉や三里塚をはじめとする闘う労働者人民に暴力的に敵対をくりかえしているのです。

今や動労「本部」革マル反動分子一掃・追放の闘いは、全国鉄労働者いや全国の闘う労働者の共通の闘いとなりつつあります。

### 十二・三労働者集会を圧倒的に成功させよう

われわれは、こうした混沌と屈服の道を進む既成労働運動をのりこえ、三里塚を闘う労働運動の全国的潮流をさらに拡大・強化し、戦争と反動攻撃と真に対決するため共に前進しようではありませんか。

全国の闘う労働者の皆さんに十二・三労働者集会への圧倒的結集を訴えます。

